

創建七五〇年



聖一国師像 Shoichi Kokushi

一時坐禪すれば、一時の仏なり
一日坐禪すれば、一日の仏なり
一生坐禪すれば、一生の仏なり

「聖一国師語録」より

日本で最初に国師と称された禅僧

聖一国師を開山として

聖一国師こと円爾弁円(一一二〇～一二八〇)は、天皇より初めて国師号を贈られた禅僧です。駿府国(現在の静岡市)栴沢に生まれ、久能山久能寺(現在の久能山東照宮)に登つて堯弁法師の室に入りました。その後、三井園城寺で天台学徒となり、栄西(建仁寺開山)の高弟、行勇・栄朝を師としました。三十三歳で宋に渡り、杭州径山万寿寺の佛鑑禅師の法を嗣ぎ、六年を経て帰朝。筑紫に崇福寺・承天寺を建て法を説き、名声が国内に及ぶや撰政関白・

九條道家に都に迎えられ東福寺を開山。やがて歴代天皇や幕府の帰依を受け、京の岡崎尊勝寺、大阪四天王寺、奈良東大寺などの再建復興にも尽力。延暦寺の天台座主慈源や東大寺の円照らを教導して、その学徳は国中に称えられました。国師は中国より多くの典籍を持ち帰り、文教の興隆に寄与。また水力を用いて製粉する器械の構造図を伝えて製麺を興すとともに、杭州径山の茶の種子を郷里に伝えた静岡茶の茶祖でもあります。

Tofuku-ji Temple

Tofuku-ji Temple is a famous Zen temple, and is one of the five “Kyoto Gozan” temples. It was established in the Kamakura Period by a great statesman, Kujo Michiie. The name “Tofuku-ji” was taken from the two major temples in Nara, Todai-ji Temple and Kofuku-ji Temple. In the Butsuden (Buddha hall), there is a 15-meter tall standing Buddha statue, erected to indicate that the temple was Kyoto’s “new Buddhist temple”. The priest who started the temple was Enniben (1202-1280), and was given the title of “Shoichi Kokushi”. He was the first priest to receive the title of “Kokushi (national priest)” from an emperor of Japan. This temple has maintained its Zen architecture since the Middle Ages, and as the main Rinzaisect temple, can boast a magnificent Doto Garan complex, the only one of its kind in Kyoto. Since its establishment 750 years ago, it has served as a Zen temple that provides visitors with the opportunity to see the essence of Zen. This is most visible through the wealth of medieval Zen artifacts seen throughout the premises.

大本山東福寺

東福寺は被誉为“京都五山”之一的著名禅寺，由镰仓时代的摄政关白九条道家所建，“东福寺”以奈良二大寺院——东大寺和兴福寺的“东”和“福”二字命名。佛殿内安放有高15米的立佛像，并由此营造了京都的“新大佛寺”。东福寺第一代住持为之后被赠与“圣一国师”称号的円爾弁円(1202～1280)，他也是日本首次被天皇授予“国师”称号的一代高僧。作为临济宗大本山的东福寺，继承了中世纪以来的禅宗建筑，拥有京都首屈一指的宏大的殿堂、佛塔和伽蓝。东福寺创建至今750年，作为中世纪禅宗遗址随处可见的禅寺，在京都也是非常罕见的。

대분산 도후쿠지 절

도후쿠지 절은 「교토고잔(京都五山)」의 하나로 손꼽히는 유명한 선종 사찰입니다. 가마쿠라 시대에 섭정과 관백을 역임했던 '구조 미치이에' 공이 창건하였습니다. 「도후쿠지 절」이라는 이름은 나라 지방의 2대 사찰인 도다이지 절과 고후쿠지 절의 「도(東)」와 「후쿠(福)」의 2글자를 조합하여 명명하였습니다. 불당에는 높이 15미터의 대불 입상을 안치하여 교토에 새로운 「대불상」 절을 조성하였습니다. 창시자는 훗날, 「쇼이치 국사」의 칭호를 받았던 엔니벤엔(1202～1280) 스님입니다. 그는 일본에서 처음으로 천황으로부터 「국사」라는 칭호를 받았던 위대한 고승입니다. 도후쿠지 절은 교토에서 가장 장대한 당탑가람을 자랑하는 임제종의 대분산으로서 중세 이래의 선종 건축을 계승해 왔습니다. 창건 이래 750년, 중세의 선종 유적을 경내의 도처에서 견학할 수 있는 선종 사찰로서 교토에서도 좀처럼 찾아보기 어려운 사찰입니다.

臨濟宗大本山 東福寺 Tofuku-ji Temple

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目
TEL 075-561-0087 FAX 075-533-0621
交通◎JR奈良線・京阪電車「東福寺」駅から徒歩10分。
または京都市バス「東福寺」バス停下車
<http://www.tofukuji.jp/>

写真／水野克比古

京都五山の大伽藍



T O F U K U - J I T E M P L E

の歴史、脈々と。



本堂 Hondo (main hall)

撰政関白・九條道家の造営による京都最大の大伽藍

京都五山 東福寺

創建は古く鎌倉時代。ときの撰政関白・藤原(九條)道家が、南都東大寺と興福寺から「東」と「福」の二字をとって、九條家の菩提寺として造営。仏殿には高さ十五メートルの大仏立像を安置。京の「新大仏寺」として、一二三六年より実に十九年をかけて、都最大の伽藍を完成させました。

開山には聖一国師を仰ぎ、当初は天台・真言・禅の三宗兼学として壮大な堂塔伽藍を配置。鎌倉末期の相次ぐ

火災により大部分を焼失しましたが、

直ちに復興に着手。一三四七年、前関白一條経通により仏殿が再建され、京都五山の一つにふさわしい禅宗寺院として、偉容を取り戻しました。

その後は足利、豊臣、徳川家によって保護修理が加えられ、奇跡的に都の兵火を逃れて中世以来の堂塔伽藍を継承。惜しくも明治十四年、方丈・仏殿・法堂などを焼失・再建されましたが、今なお中世の禅宗建築を随所に遺しています。境内にある通天橋は紅葉名所として有名。昭和の作家・重森三玲による方丈庭園も知られるところです。

もっと知りたい東福寺

◆東福寺三名橋とは

広大な境内に北谷・中谷・南谷の三つの渓谷を巧みに取り入れられている東福寺。通天橋からの眺めは中谷にあたり、ここにかかる三つの歩廊橋は上流から偃月橋(重文)、通天橋、臥雲橋。これを「東福寺三名橋」と呼びます。



通天橋から臥雲橋を望む

◆七五〇年鳴り続く、深夜の送り鐘

毎夜十一時四十五分ごろから十八回、開山堂・常楽庵鐘樓の鐘が鳴ります。この深夜の鐘は、開山・聖二国師以来の習慣。国師は同じ京都五山・建仁寺の住持でもあったため、東福寺でのお勤めがすめば建仁寺へ移動。このとき東福寺では「送り鐘」でお送りし、建仁寺では「迎え鐘」でお迎え。東福寺に七五〇年欠かさず続く習慣です。

京都を代表する紅葉名所 通天橋 Tsuten-kyo Bridge



方丈と開山堂を結んで架かる。ここから眺める渓谷・洗玉澗(せんぎょかん)の紅葉と新緑は絶景。黄金色に染まる珍しい三ツ葉楓は聖一国師が宋から伝えた唐楓といわれている。

通天橋からつながる開山塔院

開山堂(常楽庵)【重文】 Kaisan-do Hall [Important Cultural Property]

1280年入定(にゅうじょう)の聖一国師を祀る。楼閣そびえる伝衣閣(でんねかく)にある「三国伝来の布袋」像は伏見人形のルーツ。普門院前の庭園は江戸中期の名園。

八角形の優美な円堂

愛染堂【重文】 Aizen-do Hall [Important Cultural Property]

丹塗りの柿(こけら)葺き八角円堂。南北朝時代の建築。昭和12年、万寿寺より移された。愛染明王をまつる。

亀山天皇御所の遺構

月下門(月華門)【重文】 Gekka-mon Gate [Important Cultural Property]

1268年の常楽庵建立時、亀山天皇が下賜されたと伝わる。今は普門院の総門。四脚門で椀皮葺き、細部に鎌倉時代の特色が美しい。

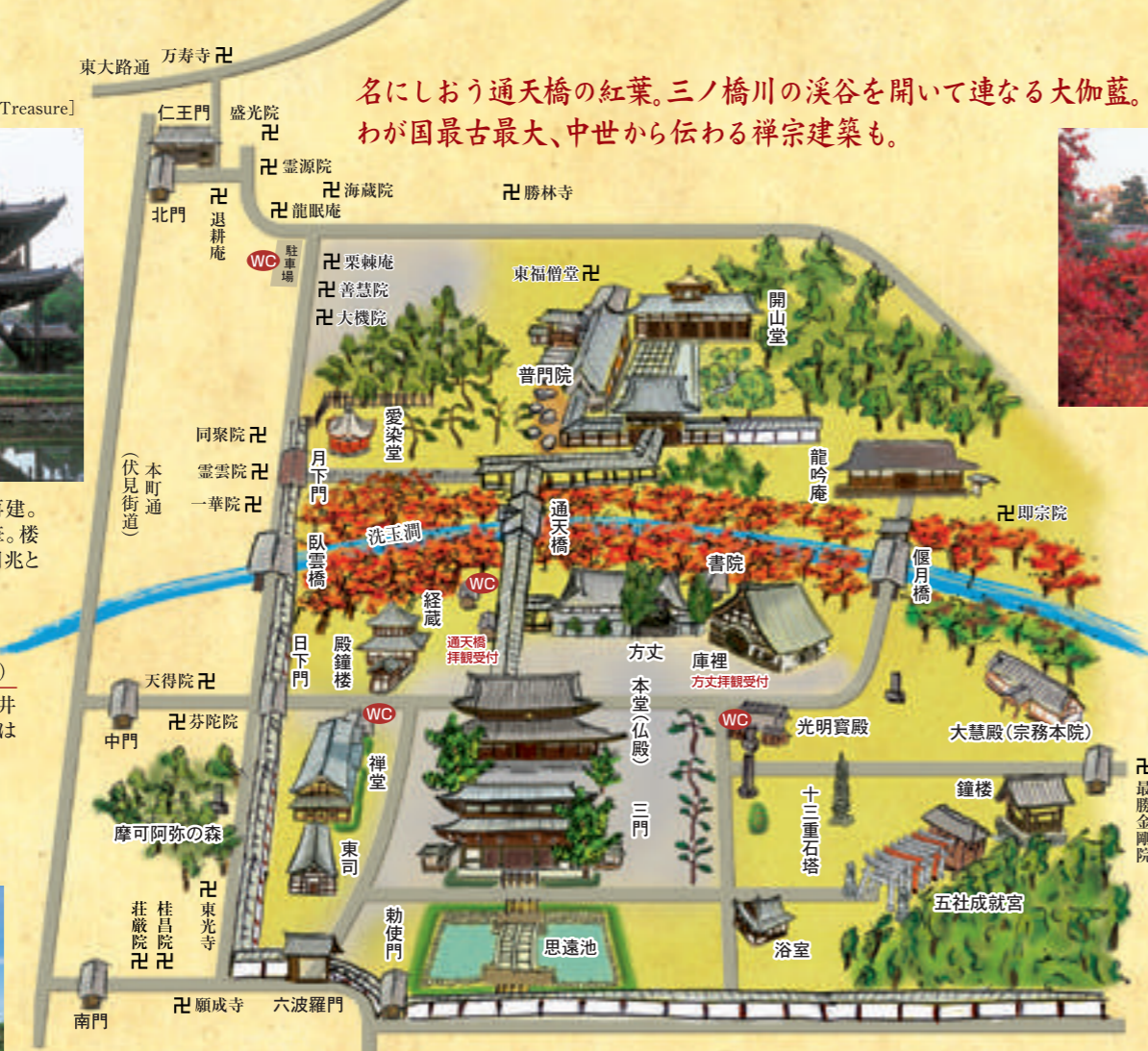


重森三玲の代表作

方丈庭園 Hojo-Teien (garden of the abbot's hall)

昭和の名作庭家・重森三玲の作(昭和14年)。「八相の庭」と命名され、近代庭園の傑作とされる。方丈の東西南北に四庭をもつ。

名にしおう通天橋の紅葉。三ノ橋川の溪谷を開いて連なる大伽藍。わが国最古最大、中世から伝わる禅宗建築も。



正覚庵
光明院
永明院
南明院

桃山時代の木造橋廊

偃月橋(えんげつきょう)【重文】 Engetsu-kyo Bridge [Important Cultural Property]

三ノ橋川の上流に架かる木造橋廊。1603年の建築で、単層切妻造の屋根は棧瓦葺き。通天・臥雲橋とともに東福寺三名橋と呼ばれている。

明治時代に再建

方丈と庫裡 Hojo (abbot's hall) and Kuri (priests' living quarters)

方丈は明治23年再建。唐門・庫裡は明治天皇皇后であった昭憲皇太后の恩賜建築。

入浴にも厳格な作法 浴室【重文】 Yokushitsu (bathroom) [Important Cultural Property]

国内最大、東大寺の湯屋に次いで古い浴室(1459年の瓦銘)。蒸し風呂形式。

正覚庵
光明院
永明院
南明院

平安初期の西寺の遺物 殿鐘樓 Den-shoro (belfry)

禅堂の北に建つ鐘樓。漆喰壁に覆われた室町後期の建物。銅鐘(重文)は平安初期を下らない製造とされ、もと西寺の遺物と伝わる(現在は収蔵庫に収納)。

九條道家が創立祈願

十三重石塔【重文】 Jusanju-Sekito (13-story stone pagoda) [Important Cultural Property]

1343年、九條道家が当寺創立を祈願して造立。全体の均整もよくとれており初重の梵字が美しい。

寺内最古の建築

六波羅門【重文】 Rokuhara-mon Gate [Important Cultural Property]

六波羅探題の遺構を移築したと伝えられる。月下門(重文)とともに寺内で最も古い建築物。

現存最古最大、楼上内部に極彩画

三門【国宝】San-mon Gate [National Treasure]



大仏(天竺)様を思わせる、室町初期の再建。扁額「妙雲閣(みょううんかく)」は足利義持筆。楼上内部には諸仏が並び、天井や柱には明光と弟子による極彩画が描かれている。

猫のいる大涅槃園で知られる

本堂(仏殿兼法堂) Hondo (main hall)

昭和9年築の重層入母屋造の大建築。天井の蒼龍図は堂本印象作。春の涅槃会には明光の大涅槃園が公開される。

中世より遺る唯一の僧堂建築

禅堂【重文】 Zen-do Hall [Important Cultural Property]



1347年再建。わが国最古最大、中世から遺る唯一の坐禅道場。鎌倉風の華頭窓が美しい。扁額「選佛場」は宋の佛鑑禅師(聖一国師の師)筆。

便所も禅の修行のうち

東司【重文】Tosu (Lavatory) [Important Cultural Property]

通称白雪隠(ひやくせつちん)すなわち便所。禅僧は用便も修行であり、東司へ行くにも厳しい作法が定められていた。わが国最古、室町前期の遺構。



東福寺管長 福島慶彦
「通天」

一年のおもな行事	
● 1月1日 ~ 3日	修正会
● 2月初午	懺悔法会
● 3月14日 ~ 16日	涅槃会
● 4月8日	降誕会
● 4月18日	佛誕忌
● 10月17日	開山忌
● 12月8日	成道会
● 12月31日	除夜

【東福寺の塔頭、全25寺院】

万寿寺	栗棘庵	ふん 芬陀院	よう 永明院
退耕庵	善慧院	とう 東光寺	なん 南明院
盛光院	大機院	けい 桂昌院	そく 即宗院
靈源院	同聚院	しょう 莊嚴院	りゅう 龍吟庵
龍眠庵	霊雲院	かん 願成寺	
海蔵院	一華院	しょう 正覚庵	
勝林寺	天得院	こう 光明院	